



投稿フォトギャラリー

撮影者 撮影日 撮影場所



満開の桜とマリンビュー
藤原敏明さん 平成25年4月
所宮沖五丁目



土手にも春
三浦宣行さん 平成25年3月
所本郷町上北方



さくら日和
堀池野 佐久江さん 平成25年4月
所本町中央公園(本町三丁目)



桜満開樓真寺
堀谷川敏子さん 平成25年4月
所樓真寺(大和町平坂)

投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 7日(火)(必着)
応募資格 市内に在住か通勤・通学の人
選考 総務課で選考
※投稿写真の著作権は市に帰属します。
※投稿写真の返却は行いません。広報誌で紹介できな

った写真は、市ホームページへ掲載します。
申し込み 郵送またはEメールで、写真データか写真(L判サイズ)と、①撮影者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を総務課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 soumu@city.mihara.hiroshima.jp)へ



さまざまな分野でがんばる、キラリと光る人や活動を紹介します。

「今回のさつき祭りを、市民の人と県大生の両方にとって楽しい思い出にしたい」。そう話すのは、県立広島大学2年生の庭崎恵さん、吉宗美代子さん、井上真理香さん。3人は大学の学生自治会に所属し、さつき祭りにボランティアとして参加する県大生の取りまとめ役をしています。

さつき祭りでは、お馴染みとなっているピンク色のTシャツを着た県大生の姿。すっきり三原のまちに溶け込んでいるように見える彼らですが、実はそのほとんどが4月から三原に住み始めたばかりの新1年生なのです。

「昨年、先輩と一緒にさつき祭りに参加し、三原のにぎやかさや、きれいな施設があることを初めて知った」と話す3人。

今年のさつき祭りも、県大生の爽やかな笑顔が来場者を迎えてくれるはずです。

さつき祭りは、フレッシュな県大生と三原を結ぶ大切な架け橋になっています。

さつき祭りには、約190人の1年生のほとんどがボランティアとして参加します。3人は、交通整理や各イベントの運営補助といった学生が担当する仕事の割り振り、実行委員会との連絡・調整など、学生の先頭に立って準備に当たっています。



県立広島大学学生自治会さつき祭り担当
吉宗 美代子さん、庭崎 恵さん、井上 真理香さん